

平成30年7月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 平成30年7月23日(月)

II. 開会及び閉会  
開会 13時30分  
閉会 16時53分

III. 出席委員	教 育 長	東 南 信 行
	委 員	淵 本 晴 生
	委 員	片 山 工
	委 員	井 手 康 人

IV. 出席職員	教 育 次 長	藪 井 慎 吾
	参 与	嶋 田 学
	総務学務課長	山 本 正 樹
	総務学務課参事	松 本 総
	社会教育課長	今 吉 崇 文
	邑久学校給食調理場所長	森 山 光 晴
	総務学務課指導主事	木 村 正 徳
	総務学務課係長	安 井 明 子
	総務学務課主幹	山 本 三 千 代

V. 議事の内容

1. 開 会

2. 教育長報告について

東南教育長

●西日本豪雨災害に伴う市内教育関係施設の被害状況について

●各事業等の進捗状況

- ・もみわ祭り(6/24)について
- ・第1回プレミアムコンサート(6/24)について
- ・国宝「太刀 無銘一文字(山鳥毛)」に関する市民への説明会(7/28・7/29)について
- ・邑久B&Gプールリニューアルオープン式典(7/1)について
- ・「古今東西 刀匠・職方列伝パートII」開催(6/29~9/29)について

- ・セキ美術館コレクション展（6/9～7/22）について
- ・第23回オーリーブコンサート（7/22）について

### 3. 前回会議録の承認

署名委員 淵本 晴生 委員 片山 工 委員

### 4. 議 事

東南教育長 議事進行

#### 第38号議案 臨時職員採用等について

山本課長 （資料を基に説明）

全委員 <異議なし>

東南教育長 非公開審議を開始することを宣する。

#### 第40号議案 準要保護児童生徒の認定について

< 非公開 >

東南教育長 非公開審議を終了することを宣する。

#### 第41号議案 岡山連携中枢都市圏図書館相互利用について

嶋田参与 （資料を基に説明）

全委員 <異議なし>

#### 第42号議案 学校給食調理場の今後の方向について

森山所長 （資料を基に説明）

片山委員 職員の確保が一番大きな課題となってくるので、民間委託もやむを得ないと思う。デメリットとして栄養教諭等が調理員へ指示が直接行えないとあるが、日頃から栄養士と連絡を取り合っただけで動けるようにしておかないと何かあったときに困るのではないかと思う。

森山所長 指示が直接行えないだけであって現場で全く話ができないという訳ではない。分からないことがあればいつでも聞いていいと調理員にも言っているので、邑久調理場ではそれで困ったことはあまりない。

片山委員 もし事故が起こった時、校長が栄養教諭に伝え、そこから会社に伝え

て指示を受けては対応に時間がかかるのでは。

藪井次長 栄養教諭が会社に連絡してそこから指示があるイメージだったが、実際には呂久調理場の場合は現場に責任者がいてくれる。

森山所長 事務的な事は本社と話をするが、調理業務に関する事は現場責任者が調理場内にいるので栄養教諭はそこと話をするようになる。

片山委員 現場責任者は牛窓調理場と長船調理場それぞれに配置するのか。

森山所長 それぞれに配置する。

東南教育長 プロポーザルでは、責任者をそれぞれの調理場に配置することを条件とする。

淵本委員 栄養教諭は調理現場に入ることはできるのか。

森山所長 作業の経過や味のチェック等行うため現場に入って作業をする。

淵本委員 このままの人数では調理が出来ないということを考えると、牛窓調理場も長船調理場も民間委託に移行していかなければいけないのだろうと思う。しかし、長船調理場と牛窓調理場で個々に委託することになれば、牛窓調理場は食数が少ないので引き受けてくれる業者がないかもしれない。一緒にすれば引き受けてくれる業者はあるだろうが、人員配置をきちんとしてくれるのだろうか。牛窓調理場は食数が少ないから職員も少なくてもいいという考えだと困る。どちらにも責任者は置くということなのでその点は安心できるが、きちんとした人員配置をして両方がうまくやれるようにしていてもらいたい。

東南教育長 牛窓調理場と長船調理場は個別であるとの認識を持って進めていく。今後は具体的なプロポーザルの仕様などを検討していくことになる。

全委員 <異議なし>

第 43 号議案 平成 29 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

山本課長 (資料を基に説明)

淵本委員 (文章中の字句の追加、文章表現について指摘、提案)

片山委員 (文章中の字句の追加、文章表現について指摘、提案)

淵本委員 5 頁の課題について、28 年度は ICT についての取り組みが課題であると書いてあったが、29 年度の取組の概要には ICT についての表記が全くない。28 年度に課題として挙げたことは 29 年度にどのような取り組みをしたのか表記してあるほうがいい。

片山委員 28 年度の今後の方向性にはプログラミング学習が入っていたが、29 年度はプログラミング学習がなくなり道徳教育が入ってきている。これは ICT の活用の中にプログラミング学習も含まれているからな

のか。それともプログラミング学習は解決済だから入っていないのか。これから大きな課題のひとつでもあると思うのではっきりさせていた方がよいのではないかと思う。

淵本委員 6頁の成果の表現が28年度とほとんど同じである。1年経って成果が同じ表現でいいのか。

7頁の自己評価について、28年度はBであったが29年度はAに変わっている。評価をAにした理由を聞かれた時に具体的に答えられるようにしておいた方がいい。自己評価は何故この評価にしたのか理由がどこかに書かれてあるといい。

片山委員 8頁について、29年度は人権週間に人権擁護委員の方から話を聞く機会はなかったのか。

松本参事 29年度もあった。

片山委員 大きな取組であり地域に結びつくひとつの接点になっていくと思うので、実施しているのであれば取組の概要に表記してもいいのではないか。

淵本委員 10頁の課題について、まだ検討の結論はでていないのか。

嶋田参与 アンケートを取り満足度や課題等は掴んでいるが、更に突っ込んだ事業の成果についてどのような測定方法にするかは十分な結果がでるような検討ができなかった。

淵本委員 何か目途はあるのか。

嶋田参与 具体的な課題を洗い出すところまでは出来ていないが、ブックスタート事業については、アンケート調査結果を子育て支援センターの保育士と図書館司書とで共有して事業の運営、改善に活かしている。

淵本委員 この課題がずっと残ったままにならないようどうにかしなければならぬ。何か結果が出る目途があるならそこに予算をつけてもらうなどして解決していけるといいのだが、目途がなければ大変だと思う。

嶋田参与 今後はアンケート調査の精度を高め、書いてもらうだけではなく直接聞き取りをするなど、少し視点を変えて考えていかなければいけないと感じている。

淵本委員 11頁について、方向性や課題やいろいろな表現をする時に誰の立場で文章を書いているのか。その意識をはっきり持って書かないと、教育委員会、幼稚園教諭のどちらの立場で書いている文章なのか分かってにくくなってくる。この報告書は教育委員会が書くものなので、ここは教育委員会の立場で書くという意識を持って表現してほしい。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」はひとつなのか。

松本参事 これは10項目あり「生活する力」「人とかかわる力」「学ぶ力」の3つの視点に分けてそれぞれの姿をみていく。

淵本委員 16頁その他の保健福祉部とは、民生委員が関係していることもあって保健福祉部と表記しているのか。

松本参事 子ども包括支援センターとの結びつきがあり、案件があれば一緒に学校にも訪問している。

淵本委員 民生委員は児童委員でもありその地区の児童についても見守りをしてくれているので、民生委員との連携も考えていってほしい。

片山委員 22頁の取組の概要について、開発行為は具体的にどこの地域であったことなのか。

今吉課長 この地域でという訳ではなく、遺跡地図等で埋蔵文化財が示されている所には年に何回か調査員が行って、開発行為に対して必要な指導・助言を行っている。

東南教育長 ご意見をいただいたので、これを基に修正を加えて外部評価にださせていただく。

全委員 <異議なし>

東南教育長 非公開審議を開始することを宣する。

第39号議案 平成31年度使用教科用図書の採択について

< 非公開 >

東南教育長 非公開審議を終了することを宣する。

5. 閉 会 (16時53分閉会)